

大規模改修工事について～

町では月形町民保養センター（つきがた温泉ゆりかご）などのリニューアルに向けて、改修基本計画を基に、令和4年度に基本実施設計を行い、令和5年度から令和6年度の2カ年で、大規模改修工事を実施します。

今回の工事は、皆楽公園エリアを町の観光拠点とし、温泉施設を中心とした機能向上に重点を置くとともに、温泉施設の基本的な機能の保持、今後の適正な管理・運営を行っていくための改修工事です。

周辺アウトドア、レクリエーション施設などの既存の施設を活かし、温泉、宿泊、飲食の3つの機能を安定的に継続させて、皆楽公園エリアがもつ多様な機能とサービスで、集客を図っていきます。

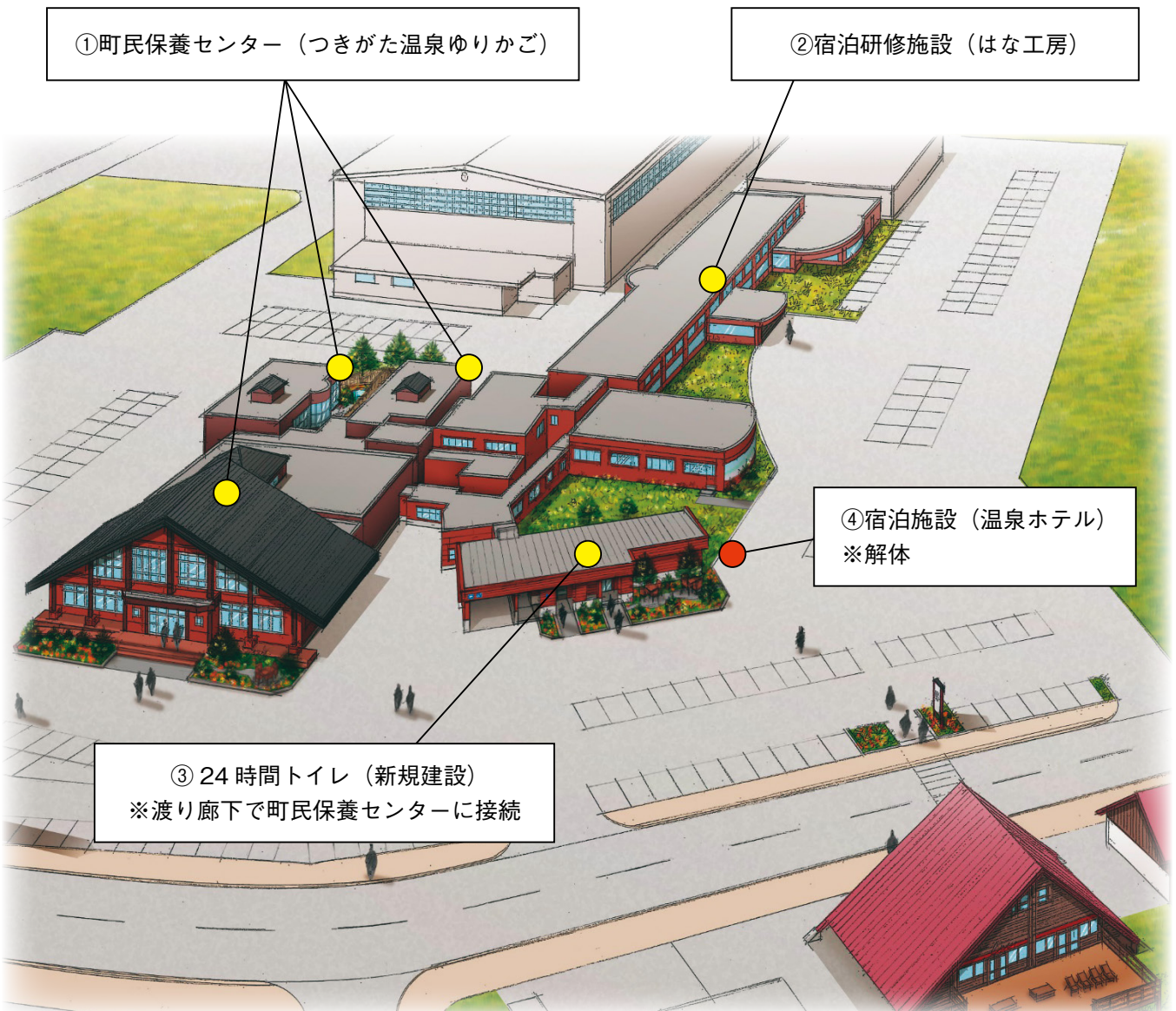
▼6つの目的

- 観光拠点の再整備
- 利用サービスの向上
- 各施設との相乗効果による賑わいの創出
- 脱炭素社会に向けた施設整備
- 老朽化施設の再生
- 管理経費の削減・効率化

▼工事概要

- 町民保養センター（温泉ゆりかご）
屋根、外装改修、内装改修、レス

【イメージ（全景）】



～月形町民保養センターなどの

トランおよび厨房新設、情報発信コーナー新設、無料WiFiスポット設置、特産品コーナー整備、フロント・オフィス整備、脱衣所内装改修、浴場内装改修（壁・床タイル張替）、給湯ボイラー・熱交換器更新、排熱回収設備新設（廃湯利用）など

○宿泊研修施設（はな工房）

外壁改修、空冷ヒートポンプエアコン・無料WiFiスポット設置

○宿泊施設（温泉ホテル）解体

○24時間トイレ／新規建設

男女トイレ、多目的トイレ、パウダーコーナー、ベビーコーナー（授乳室）

構造：木造（道産木材）

附帯：障がい者・妊婦用カーポート付き駐車場、EV急速充電器

▼工事期間

令和5年8月～令和6年8月（予定）

大規模改修工事の概要については、本号より広報などを通じて町民の皆さまに随時お知らせしていきます。

▼レストランの再開

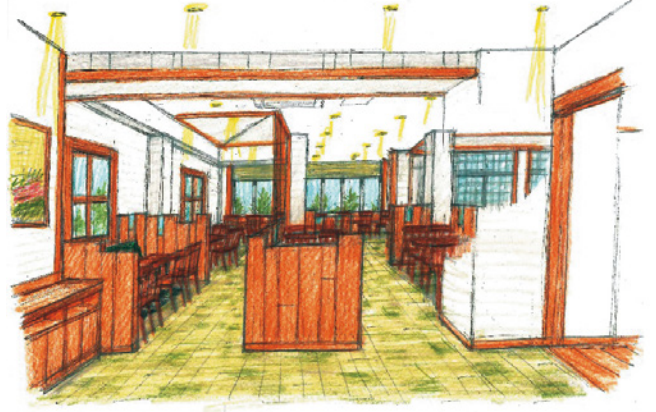
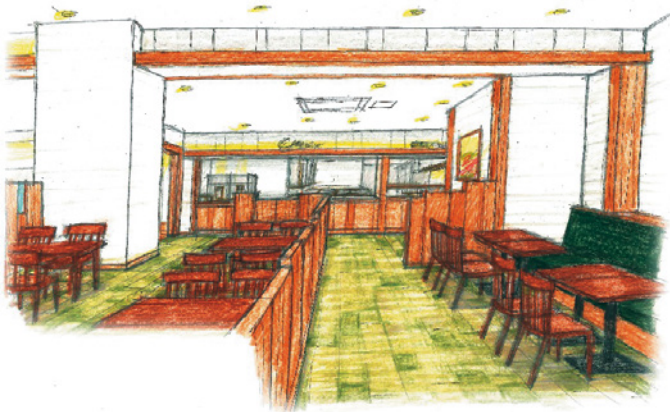
町内主要団体、商工業者、公園利用者などから多くのご意見やご要望があったレストランを再開させ、飲食サービス機能を加えて皆楽公園エリア全体の活性化を図ります。

レストランは、温泉ゆりかご内に整備し、道産木材を使用した月形町オリジナルデザインのイス、テーブルを配置し、休憩室・ロビー・売店と一体的に利用できるスペースとします。

また、提供商品は、多くの方が興味をもち何度も足を運んで貰えるように、月形町産の米・野菜などの地元食材や原材料を使用し、町内事業者との連携や協力、月形高校生のアイデアを取り入れたメインメニューとともに、テイクアウトメニューも含め開発していきます。

【整備効果】

- 地域住民が集う場を確保
- 町内飲食店の確保
- 来場者や宿泊者へのサービス提供
- 道の駅の登録を目指した機能の整備



▼温泉ゆりかごの「一時休館」

つきがた温泉ゆりかごは令和5年9月30日(土)をもちまして改修工事のため一時休館いたします。日常的にご利用いただきました皆さまには大変ご不便をおかけいたしますがご了承願います。

現在ご利用されているスタンブカード、回数券につきましては引き続きご利用可能ですので、大切に保管してください。

温泉ゆりかごのリニューアルオープンとともに宿泊営業も令和6年秋を予定しておりますのでご期待ください。

【問合せ先】

- 工事関係
農林建設課住宅建築係
☎ 53・2322
- ☎ 53・2325
- ☎ 53・2325
企画振興課地域振興係
- 温泉などの運営
月形町振興公社

☎ 37・2110



～月形町が登録を目指す「道の駅」について～

町では、町民保養センターなどの改修工事に合わせて、観光拠点である皆楽公園エリアに「道の駅」機能を整備し登録を目指しています。

「道の駅」とは、24時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの「休憩施設機能」、道路情報、観光情報、緊急医療情報などの「情報発信機能」、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」の3つの機能を有するものを指します。

また、平成23年の東日本大震災における道の駅が被災者支援・復興支援に果たした役割を踏まえながら、豪雪地帯特有の大雪による道路の通行止め時の避難先など、基本的な3つの役割に加えて「防災拠点機能」も有します。

町では、これらの機能を踏まえた道の駅の整備をすることで、産業、観光、地域活動の活性化を図り、町を元気にする観光拠点である「地域で創り育てる道の駅」の実現を目指します。

※「道の駅」は国土交通省への登録申請手続きを経て、認可された後に登録決定となります。

月形町が登録を目指す「道の駅」の概要

休憩施設機能	誰もが安心して使用できる明るく清潔なトイレの設備、飲食サービス機能のある温泉内のレストランの設備、温泉施設、宿泊施設
情報発信機能	観光PRや地域情報の発信機能、無料Wi-Fiの設備、多言語表記、歴史文化の発信
地域連携機能	町の特産品や農産物のPR、販売機能の設備、温泉などの施設の機能強化と誘客事業の展開
防災拠点機能	災害対応施設として活用、防災備蓄品配備、冬期間の避難施設
その他	キャンプ場、アウトドアレクリエーション（パークゴルフ場、野球場）、EV充電ステーションなどの周辺施設の連携

これまで町民の皆さまよりお寄せいただきました疑問について、一部ではありますが、回答させていただきます。今後もお寄せいただきました疑問については、定期的に広報に掲載させていただきますので、ご質問などがありましたらお気軽に担当部署までご連絡ください。



Q 「道の駅」の登録を目指すのに皆楽公園に新しい施設を建てるのですか？

A 町民保養センターなどの改修にあわせて、道の駅の登録に必要な機能を追加します。休憩施設機能の1つとして温泉ホテル本館を解体し、その跡地に24時間トイレを新築します。新たに施設を建設すると、将来への大きな負担となると考え、可能な限り今ある施設を有効活用し、道の駅の登録を目指します。

Q 「道の駅」登録を目指すメリットはありますか？

A 「道の駅」は人の流れを生む効果があると考えています。交通量の多い国道275号線の道路利用者、観光客を取り込むことで、月形町のPRと消費活動の増加を見込んでいます。

Q 「道の駅」に登録された際に具体的にどのような効果がありますか？

A 温泉やキャンプ、特産品の販売など、皆楽公園エリア全体の賑わいにより経済効果が見込まれます。また、月形町が「通過の町」から「寄り道の町」になっていきます。

Q 登録を目指す「道の駅」で販売する町の特産品はありますか？

A 道の駅で販売している商品は、町の特産品やオリジナル商品だけではなくありません。現在の町の特産品を中心に、空知管内の市町の商品も取り扱うことで、消費者の購買意識を高めます。また、町では「月形町ふるさと特産品開発事業」を創設し、登録を目指す道の駅で販売する特産品の開発に補助をしています。